

神 各所で昭和の面影を感じる 岡の町並みを歩いて魅力を再発見

7月9日（日） 神岡町

地元ガイドが神岡町の街を案内する「神岡街歩きガイド」の市民向けが神岡町市街地で行われました。

この街歩きは、地元の人にもっと神岡の街を知ってもらおうと神岡街歩きガイド事務局が計画し、市民ら50人が参加しました。

この日は6つのグループに分かれて、普段は見過ごすような街角の消火栓やマンホールの蓋の絵、路地裏の坂道など、昭和の面影を残す神岡の町並みを歩きました。

子どものコースを担当したガイドの中林さんは「大人になったら、神岡の街をガイドできるよう頑張ってください」と話していました。



ガイドによる説明の様子

効 ロケ地としての魅力アップへ 果的なプロモーションを学ぶ

7月5日（水） 市役所西庁舎

市では、ロケ誘致を通して効果的なプロモーションを学ぶと、ロケツーリズム基調講演会を開催しました。

講師には、観光庁「ロケツーリズム協議会」の会長を務める藤崎慎一氏を招き、「ロケ地の活用で、飛騨市を世界へ発信!!」と題し、行われました。講演では、効果的なシティブロモーション手法として全国の事例発表やロケ地での受入体勢の方法、効果的な情報発信の秘訣などについて紹介されました。

藤崎氏は「ロケ地を提供するには、地域の皆さんの協力体制が必要。地域の魅力を再発見し、地域のファンを増やしましょう」と話していました。



講演を行う藤崎氏

特 地域の皆さんへ感謝の気持ちを込めて 別支援学校の生徒が地域奉仕活動

7月11日（火） J R飛騨古川駅周辺

飛騨吉城特別支援学校高等部と中学部の生徒17人が、J R飛騨古川駅や駅周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、飛騨警察署から認証を受けたMS・MSJリーダーズの青少年健全育成のための地域奉仕活動の一環です。学校のある町の公共交通機関の拠点を清掃し、地域の一員であることに気づき、自覚することを目的に行われました。

2回目となる今回は、5グループに分かれて、駅舎やバス待合所、トイレ、跨線橋、自転車置き場などを隅々まで綺麗に清掃しました。



生徒の清掃活動の様子

+ 観光施設等でおもてなし 六銀行が県産材ベンチを寄贈

7月6日（木） 市長室

（株）十六銀行は創立140周年を記念して、県産材ヒノキを使用した木製ベンチ25基を市へ寄贈しました。

この日は市長室で記念品贈呈式が行われ、秋葉和人取締役常務執行役員から都竹市長へ目録が手渡されました。

秋葉常務は「日頃のご愛顧や地域の皆さんに感謝し、寄贈させていただきます。市を訪れた方や市民の皆さんの憩いの場になれば嬉しい」と話していました。

寄贈されたベンチは、市内の観光関連施設等に設置されています。



寄贈されたベンチ（手前）と目録を手にする両者

G 地下1000mで探検ツアー GSAで神岡鉱山や宇宙物理学を学ぶ

7月15日（土）・16日（日） 神岡鉱山

神岡鉱山の本物の坑道と「スーパーカミオカンデ」や「カムランド」などの最先端の宇宙物理学研究が行われている地中を探検するイベントGSA（ジオスペースアドベンチャー）2017が行われました。

GSAには全国から抽選で選ばれた約800人が参加しました。参加者はバスに乗り坑内に入り、中を歩きながら神岡鉱山の歴史を学んだり、実際に使われていた大型重機やスーパーカミオカンデの見学など地下1000mの探検ツアーを行いました。温度が14度前後と肌寒いほどの異空間で、普段はなかなかできない体験を楽しみました。



大型重機を見学する参加者

神 SNSは正しく安全に 岡中学校で家庭教育学級講演会

7月12日（水） 神岡中学校

神岡中学校で家庭教育学級講演会が開かれ、同校の1～3年生生徒164人とその保護者らが参加しました。

KDDIスマホ携帯安全教室の認定講師の北川浩美さんを講師に招き、「ケータイ安全・安心研修会」と題したSNSに関する講演が行われました。

講演の後には、各クラスに分かれて親子交流会が行われ、講演で聞いた事や学んだ注意点などを確認し、「我が家のルールづくり」のきっかけとして話し合いを行いました。

北川さんは「トラブルに巻き込まれないよう、家族とルールを決めて、正しく使いましょう」と話していました。



講演を行う北川氏

江 県内初の国史跡・名勝の二重指定を目指して 馬氏館跡庭園で説明会

7月15日（土） 江馬氏館跡公園

国名勝に指定される見込みとなった江馬氏館跡庭園で、市の学芸員による説明会・ギャラリートークが行われました。

説明会は午前・午後の2回行われ、市内外から多くの方が参加しました。学芸員は江馬氏の歴史や庭園の魅力・価値、名勝指定などについて説明しました。説明の後には、質疑応答も行われ、歴史談義に花を咲かせました。

江馬氏館跡庭園が国名勝に指定されると、市内で初（県内で7件目）となります。また、史跡・名勝の二重指定は県内で初となります。



学芸員の説明を聞く参加者

ま 移動スーパー2台目を導入 まごころよしさんが古川地区の買い物を支援

7月13日（木） 市役所駐車場

神岡町で買い物弱者対策支援事業として移動スーパー事業を展開している坂本良威さんが市役所を訪れ、移動スーパー2台目導入のお披露目を行いました。

坂本さんは、移動スーパー「まごころけいちゃん」を行っている坂本圭祐さんの兄で、故郷のために何かできることが無いかと東京から戻り、8月21日から古川地区での移動販売を始めます。

坂本さんは「古川地区の買い物の不自由な方のためにも少しでも貢献したい。慣れてきたらエリアを拡大したい」と意気込みを話していました。



「まごころよしさん」と並ぶ坂本さんと都竹市長



吉 超高齢社会について考える 城高校の現代フォーラムで討論

7月21日（金） 吉城高校

吉城高校で「第27回現代フォーラム」が行われ、1～3年生の生徒や保護者、教員などが参加しました。

今回のフォーラムは「超高齢社会を生きる」をテーマに行われました。まず、6名の生徒によるパネルディスカッションが行われ、それぞれの考えや対策、解決案などの意見を発表しました。

その後、名古屋大学大学院経済学研究科の柳原光芳教授の講演が行われ、生徒らは高齢社会について理解を深めました。



意見を発表する生徒

河 防災について幅広く実践し学ぶ 合小学校で児童らが防災キャンプ

7月15日（土） 河合小学校

河合小学校が防災への備えを学ぶ防災キャンプを行い、5～6年生15人をはじめ、保護者や防災士なども参加しました。

非常食の夕食や、地震で倒れてくる家具を見直す等の家庭内DIG、避難所運営訓練、ロープワーク講習など、様々な訓練や体験を行いました。児童は、家族や友人と協力しながら、防災について学び実践しました。

キャンプ終了後には、子ども防災士認定証が授与されました。



家庭内DIGを行う参加者

太 吉田常蓮寺で太子踊り 太子踊りで心一つに

7月24日（月） 神岡町吉田 常蓮寺

300年以上の歴史を持つ常蓮寺で県の重要無形民俗文化財にも指定されている太子踊りが行われました。

太子踊りは毎年7月24日に行われ、手を大きく振って常に肩より高く手を上げ、輪になって踊るのが特徴です。

この日は雨が降っていたため、参加者は本堂内で輪になって太子踊りを楽しみました。会場には、歌声や笛、三味線の音楽や参加者の笑い声が響きました。

また、常蓮寺に秘仏として安置される聖徳太子像の御開帳や各種バザーも行われました。



本堂内で輪になって踊る参加者

防 県と消防本部が合同訓練を実施 災ヘリで迅速な連携を目指す

7月18日（火） 神岡町防災ヘリポート

岐阜県防災航空隊と市消防本部神岡消防署との合同訓練が、昨年度完成した神岡町消防防災ヘリポートで行われました。

この訓練は、県防災航空隊と救助訓練の連携を図ることを目的に、地震や水害等の災害により孤立集落となった現場からヘリコプターで救出する訓練が行われました。

訓練終了後には、見学に来ていた旭保育園・双葉保育園の園児らが防災ヘリコプターや消防車両などを見学しました。園児は間近で見る本物のヘリコプターに驚いていました。



上空を旋回する防災ヘリコプター